



まちのわだい

あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。



〒811-3293 (住所不要)
福津市役所広報秘書課 広報ふくつ行
☎43・8113



▲市長に目録を贈呈する市民団体代表

子どもたちのために使ってください

市民団体が手縫いの雑巾を寄付

2月22日、ごみ拾いや花の苗植えなどを行っている市民団体のマスカットグループ、津屋崎さざなみ会、ビーチクリーンズが、市内の保育所・幼稚園・小学校で役立てて欲しいと、手縫いの雑巾600枚を市に寄贈しました。目録を受け取った市長は「大切にに使わせていただきます」と話していました。

スポーツの魅力を伝えるために

第7回ふくつスポーツフェスタが開催されました

2月26日、津屋崎中学校で福津市住みよいまちづくり企画第7回ふくつスポーツフェスタが開催されました。午前中は、親子・友だちとチームになって、野球やバスケットボール、ボクシング、卓球などのいろいろなスポーツにチャレンジしました。午後からは、プロアスリート・プロコーチによる教室があり、子どもたちは真剣な表情で指導を受けていました。



▲正しいピッチングフォームを指導する様子



▲高橋さんの授業風景(福間小学校の5年生を対象に行われました)

身の回りを使い易く・気持ちよく整えるために

福間小学校で「整理整頓と片付け」・「掃除」の授業

2月14日・16日の2日間、福間小学校に整理収納アドバイザーの高橋美穂さんを講師に迎え、「整理整頓と片付け」・「掃除」の授業が行われました。

子どもたちは、引き出しの中を片付けたり、友だちの机を拭き掃除したりしながら、身の回りの整え方を学習。机をきれいに拭き掃除してくれた友だちに対して、感謝の気持ちを伝える姿も見られました。

授業を終えた子どもたちは、自主的に教室の窓拭きをしたり、家に帰って机を片付けたり、家中の蛇口を磨いたりしたそうです。

広報ボランティア



市内で積雪

2月19日市内では初めての積雪となりました。18日の昼過ぎから綿雪や粉雪が降ったりやんだりしていましたが、翌朝は辺り一面の雪化粧。昔の白黒写真を見ているようです。

高速道路は通行止めで、国道3号は朝早くから車の渋滞が続いていました。

【福崎信一】



法務局休日相談

2月12日、市中央公民館に「全国一斉!法務局休日相談所」が開設されました。土地・建物の相続の登記や抵当権に関すること、地代・家賃の供託に関することなどの日常生活の心配ごとや困りごとなどの相談を法務局の職員、公証人、司法書士、土地家屋調査士など法律の専門家が無料で受けました。

【嶋田久美子】



子どもの広場でひな人形づくり

福間保育所は月に1回、近隣の親子を招き、子どもの広場を開催しています。

2月21日の催しは、節句前ということで、親子でひな人形を作りました。

2~3歳児とは思えない器用な手さばきで、人形の顔を描いたり、のり付けしたりして楽しんでいました。

【山本武利】



青年海外協力隊OBと研修員の見学

2月5日、青年海外協力隊と研修員の交流会が催され、アフリカの教育関係の研修員4人が福津市を訪れました。一行は昼食後、宮地嶽神社を参拝しました。夕方には、宮司公民館で佳祥会の剣舞、詩舞の練習を見学して日本文化に触れました。

【藤山謙治】



にいな 新名 倅太郎ちゃん
平成23年4月12日生
原町区

1歳のお誕生日おめでとう!! 毎日、たくさん笑顔ありがとうのパパ&ママは、倅太郎の日々成長する姿を見て幸せです。これからものびのびと元気いっぱい成長してネ!!

はしもと まな 橋本 茉夏ちゃん
平成23年8月10日生
善福区



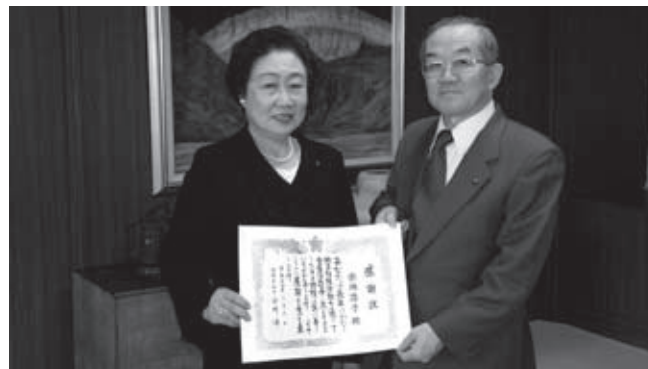
茉夏ちゃん☆ハーフバースデーおめでとう! これからも大好きなごはんたくさん食べてすくすく元気に育ってね^^ 茉夏ちゃんだいすき★ ☆ papa&mama



にし あやめ 西 彩心ちゃん
平成22年4月12日生
大和1区

いつも笑顔のあやめちゃんにパパとママは癒やされています♡ お友だちと仲良く、元気に大きくなってね!

申込・問い合わせ 市広報秘書課(福岡庁舎) ☎43・8113(直)



▲感謝状を手に笑顔の宗岡さん

食生活改善に尽力

県知事感謝状(栄養関係功労者)受賞

地区住民の健康を保持増進するため、食生活改善を積極的に推進し、その功績が特に顕著であるとして、市在住の宗岡浩子さんが、県知事感謝状(栄養関係功労者)を受賞し、2月7日に市長を表敬しました。

「福津市食生活改善推進会会長として、会員とともにうす味・地産地消を心掛けて地域に還元している」という宗岡さん。宗像・遠賀地区食生活改善推進協議会会長、福岡県食生活改善推進連絡協議会副会長など、県全体の推進員リーダーとして活躍しています。

音楽をより身近なものにするために

ロバの音楽座コンサート「ポロンポロン」

2月22日、市中央公民館でロバの音楽座によるコンサートが開かれました。主催したのはNPO法人福岡津屋崎子ども劇場です。円形に取り囲んで四方のどこからでも観られるユニークなスタイルの音楽会。中世・ルネサンス時代のリュートやバグパイプなどの多種多様な古楽器が用いられました。

ロバの音楽座の温かく柔らかな音の世界に、乳幼児の親子は体を揺らしたり、歌を口ずさんだりして和やかなひとときを過ごしていました。



▲パンフルートを吹く松本雅隆さん

地域で仕事をするということ

鳥根県海士町「巡の環」地域インターン報告会を聞きながらの対話

3月5日、津屋崎ランチで、鳥根県海士町の地域インターン報告会を聞きながら、「地域で暮らし、地域で仕事をつくるとはどういうことか」について考えるワークショップが行われました。年齢・地域・職業などの異なる参加者9人は、自分の体験を語ることで考えを深めました。

「地域の中で、仕事を作って生きていくことは、とてもやりがいがある。でも、全て自分でやりくりしないといけないから覚悟がある」「やりたい仕事だけではなかなか食べていけない。できる仕事などをしながら、やりたい仕事にだんだんシフトしていくのが良いのではないか」など真剣に語られました。



▲真剣に対話する参加者たち(仙台市や福岡市からの参加もありました)



▲松の苗木を植える親子

自分たちの手で美しい松林をよみがえらせるために

松植樹祭

3月3日に津屋崎で、松の苗木の植樹が行われました。この植樹は津屋崎地域郷づくり推進協議会環境部会の呼び掛けで、約300人の市民が参加しました。

津屋崎の松の植樹は今年で3回目。松くい虫に強いスーパー黒松400本が植樹されました。

参加者は、あらかじめ掘ってある穴に、一本一本苗木を置いていきます。丁寧に土を被せ、松の周りを回りながら踏み固めていきます。

この日は、親子で植樹する姿や夫婦で植樹する姿が見られました。

植樹の後は、ぜんざいが振る舞われたり、子どもたちにお菓子が配られたりしました。

数十年後、素晴らしい松林がよみがえるでしょう。

福岡・勝浦・宮司地区でも同様の活動が行われています。



▲津屋崎の暮らしぶりを伝える津屋崎ランチ代表の山口覚さん

津屋崎の暮らしぶりを東京へ発信

津屋崎ランチ in 東京

2月18日・19日の2日間、東京新宿区にある文化発信拠点「ラ・ケヤキ」にNPO法人津屋崎ランチスタッフが招かれ、津屋崎の暮らしぶりや津屋崎での活動を紹介しました。どうして福津には多くの子育て世帯が移住しているのかなど、「豊かな暮らし」について考えるワークショップが行われました。

国や自治体、報道関係者も多数集まり、注目度の高さが感じられました。

ふくつの海をイメージしたお土産品が誕生

ふくつの海スイーツ

福津市観光産業活性化協議会は「福津の目玉となる土産品の開発・改良」を目指しています。

今回、福津の「海」をイメージした市オリジナルのお土産「ふくつの海スイーツ」ができました。

見て楽しい、食べておいしいスイーツを、ぜひご賞味ください。パンフレットは、JR福岡駅内の市行政・観光情報ステーションおよび市内公共施設にあります。



▲JR福岡駅内の市行政・観光情報ステーションに展示されたサンプル品